

平成22年度 第1回 虻田地区地域審議会会議録

日 時 平成22年8月11日（水）  
午後2時50分から  
場 所 洞爺湖町役場 第2委員会室

○会議次第

議 題

- 1 開会
- 2 町長あいさつ
- 3 委員の紹介
- 4 会長及び副会長の選任について
- 5 会長及び副会長あいさつ
- 6 議題  
(1) 地域審議会の役割と所掌事項について  
(2) その他
- 7 町長とのまちづくり懇談会  
テーマ：地域資源とまちづくり
- 8 閉会

○出席委員

奥 山 耕 一	鈴 木 雅 善	越 後 節 子
中 村 敏 之	阿 部 恵 次	吉 田 聡
河 村 均		

○欠席委員

小 林 周 二

○会議に出席した町職員等

洞爺湖町長 真屋敏春  
企画防災課長 澤登勝義  
企画防災課行財政改革推進室長 武川正人  
企画防災課行財政改革推進室主査 末永弘幸

## 1 開会《午後 2 時 5 0 分》

**企画防災課長** それでは、皆さんお揃いになりましたので、地域資源見学に引き続きまして、平成 22 年度第 1 回目の虻田地区地域審議会を開催したいと思います。

本日は委員の改選に伴います一回目の会議でございまして、会長、副会長の互選による選出がございまして。

会長並びに副会長が決定するまでの間、私が進行を務めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして真屋町長よりご挨拶をお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

**町長** 皆さんには本日、時節柄大変お忙しいところ、このようにご出席いただきまして、真にありがとうございます。

また、この前には公共施設の見学をしていただいたところですが、当町には火山科学館、サミット記念館、洞爺芸術館、またオートキャンプ場やフットパス散策路などがあります。

公園としては、洞爺湖ぐるっと彫刻公園、噴火記念公園、噴水公園、入江高砂貝塚など、歴史的、文化的にも優れた観光資源が点在しています。

そのような中で、洞爺湖町は平成 18 年 3 月 27 日に合併してから 4 年が経過するところですが、合併協議の中でいくつか重要な項目がただいま協議されているところがございます。

また、その項目の中に地域審議会の設置がありまして、地域審議会については、合併関係町村の協議により、合併前の旧町村の区域ごとに置くことができることとされており、町長の諮問に応じ審議し、また必要に応じ意見を述べるができることとされておりまして。

虻田地区、洞爺地区の地域の実情に応じた施策の実施に対してよりきめ細やかな住民の意思を反映する方法の一つとして、合併特例法により地域審議会制度が設けられているところがございます。

皆様方には、今後 2 年間、虻田地区地域審議会委員として、様々な視点でまちづくりに対するご意見をいただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いしたいと思います。

この地域審議会については、実りある有意義な会議となるよう御記念申し上げて挨拶といたします。

**企画防災課長** 続きまして、今回新たに委員に委嘱された方もおられますことから、委員の自己紹介をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

～ 各委員及び事務局員の自己紹介 ～

**企画防災課長** 続きますして、会長及び副会長の選任についてでございます。

これにつきましては、虻田郡虻田町及び虻田郡洞爺村の配置分合に伴う地域審議会の設置に関する協議書の第7条の規定に基づき、「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。」ということになってございますので、これより互選により会長及び副会長を決めさせていただきたいと思いますが、これに関して意見等ございますでしょうか。

**委員** 委員の中に変わっている方もいらっしゃるし、立ち上げ時からやられていらっしゃる、奥山さんを会長に、鈴木さんを副会長のそれぞれお願いいただければと思いますがいかがでしょうか。

**企画防災課長** 只今、委員さんから引き続き会長には奥山委員、副会長には鈴木委員という意見がございましたがいかがでしょうか。

～ 異議なしの声あり ～

**企画防災課長** 異議なしということでございますので、会長には奥山委員に、副会長には鈴木委員に決定をさせていただきます。

それぞれ席の方へ移動をお願いいたします。

それでは、只今選出されました、奥山会長、鈴木副会長より一言ご挨拶をお願いいたします。

**会長** このたびご推薦いただきましてありがとうございます。

また2年間会長を務めさせていただきますので、皆様のご協力をよろしく申し上げます。

**副会長** 副会長に推挙いただきました鈴木でございます。

会長の補佐的立場を何とか2年間全うさせていただきたいと思っております。

よろしくをお願いいたします。

**企画防災課長** 以降、新会長の議事進行をお願いいたします。

**会長** それでは、議題に沿って進行したいと思います。

審議会の役割と所掌事項について、事務局より説明をお願いいたします。

**事務局** それでは議題の一つ目でございます、地域審議会の役割と所掌事項についてということで私のほうからご説明をさせていただきます。

虻田地区地域審議会会議資料ということでお手元に配布させていただいてございますが、1ページ目ご覧いただきたいと思います。

先ほど、町長の挨拶の中でもお話させていただきました内容でございます。

地域審議会は平成11年7月の合併特例法の改正でこの制度が設けられたというものでございます。

この大きな役割というのをご覧いただいているとおり、合併することによる行政区の拡大、これによって役場と住民の距離が大きくなるということから、意見等が町政の施策に反映しづらくなるのではないのかという懸念から設けられた仕組みでございます。

これについては、地方自治法に基づく附属機関であり、議決機関ではございません。

下段に主に諮問する事項や意見を述べる一般的な例示を記載してございます。

先ほどお話の事前の協議書に基づく協議によって決定した旨の内容が2ページでございます。

ご覧のとおり、第1条に設置というものがございます。

虻田地区、洞爺地区それぞれに置かれているというものでございます。

なお、任期は2年となっておりますので、平成18年の地域審議会の設置から今期で第3期目ということでございます。

所掌事項については、第3条のとおり、「町長の諮問に応じ、審議し答申する。」

これが大きな役割でございます。

それからもう一つが2項に記載のとおり、新町建設計画の執行状況及びその他必要と認める事項について、町長に意見述べる事が出来るという大きな役割を持っている機関でございます。

以上、お手元資料をご覧いただいているとおり、組織を構成員、構成する方の要件、これらが記載されてございます。

3ページですが、只今会長、副会長の互選をしたという条項が記載されております。

第9条に記載がございしますが、それぞれ本庁地区、企画防災課行財政改革推進室が虻田地区の事務局、洞爺地区については、総合支所において処理するという内容でございます。

4ページについては、会議の運営をスムーズに行うために、第1期目の時において、会議運営規定というものを設けたところでございます。

基本的には第5条にございます、会議の議事は全会一致をもって進めることを原則とするという内容になってございます。

説明につきましては以上でございます。

**会長** ありがとうございます。

続きまして、その他、皆様から議題等持っている方いらっしゃいませんか。

**企画防災課長** 話題の提供ということで、私の方から口頭でお話させていただきたいと思います。

皆様方もテレビ等でご承知かと思いますが、地上デジタル放送への移行ということで、来年、平成23年7月24日をもって現在視聴のアナログ放送が終了します。

当町における地デジの対応内容ということで、現在、町内的に難視、要するに電波が届くか、届かないかというところの実態調査を始めています。

市街地内、現在アンテナを付けて視聴しているところについては、単純にチューナー、それからテレビの買い替えなどでもって簡単に移行することができるんですけども、電波が届かない、大きい山間の影になっているですとか、大きい建物の影になって、今まで見れていないというところについての対応、対策ということで現在取り組んでいるところでございます。

これについては、総務省で国の施策でございまして、それに伴う個別対応については、デジタルサポートセンター、これについても随時テレビ等で随時周知している内容でございます。

虻田地区におきましても、そういう懸念されるところが数箇所あるということで、現在、そのエリアについては確認作業をしながら改善策について、具体的に言いますと、個々によって対応策が違う状況にありますので、これを現在実態調査と併せて改善策等についての個別相談を実施しているところでございます。

また洞爺湖温泉地区、洞爺地区、広範囲に広がっておりますけれども、そういったところの机上で大きく絞り込みをして、現在個別で、サポートセンターに届出のされているもの、まだないものの部分についても対応、対策ということで所管窓口として、町としては企画防災課の方で総合的な業務を行っているところでございまして、それら等について何か情報等がございましたら、問い合わせは、役場の方としては、企画防災課になっておりますのでご報告いたします。以上でございます。

**会長** 他にございませんか。

次に町長とのまちづくり懇談会ということで、テーマとして「地域資源とまちづくり」ということで、どのように進めたらよろしいでしょうか。

**事務局** それでは、事務局の方から簡単に説明させていただきます。

企画防災かの中には町長の諮問機関として審議会を2つ持っております。

もう一つが行財政改革審議会でございます。

従前より財政的に非常に苦しいということで、住民の皆さんに負担をしていただくですとか、行政の中の経費を大きく削減していく。

一連の行財政改革に係る部分を全面に打ち出したような形で進めてきた部分がございます。

今後につきましては、削減の部分をどこまでがんばれば、次の展開が見えてくるのか。

明るい話題も何か示す必要がある。

町民の皆さんからいろいろなお話をお聞きしています。

そのようなことから、地域審議会の話題として、従前は地域的な課題についてということで、町長の諮問に依拠してご意見をいただくという流れで一期目はこの審議会を進めてきた経緯がございます。

今後につきましては、何か町に元気が出るような大きな地域資源を抱えた中で前向きにプラスの思考で進んでいけるという意見を住民の皆さんに交わしていく必要があるという町長の考えもでございます。

そういうようなことから、今日の審議会会議に入ります前に地域資源のいくつかではございますけれども、見ていただきましてこの後町長との懇談をさせていただくという時間を設定させていただいたということでございます。

本日配付の資料、「宝を探せ、あなたの町に宝の山が眠っている」という資料がございます。

これが、どちらかと言いますと地域資源と考えますと、洞爺湖町は自然景観、作った施設がメインかと思えます。

これは、地域資源にはどのようなものがあるのかということで、参考資料として配付させていただいたところです。

固定的な資源、流動的な資源、それにいろいろなものが分かれていると。

自然資源の中で代表的な北海道の事例ということで洞爺湖は自然資源として位置づけられていたり、社会資源については、洞爺湖ロングラン花火があったりと代表的な例として掲載されてございます。

それ以外の資源、一部ではございますけれども、車中等でご説明させていただいたところでございます。

今日の施設見学を切り口として、この後忌憚のないご意見をいただきながら、町長と懇談をしていただきたいという時間を設定させていただいたところでございます。

事務局からは以上ですが、後の進行につきましては、会長にお願いしたいと思えます。

**会長** この辺の町長とのまちづくりの懇談ということで、最初に町長から新町長になられまして、資源をどのようにしたいという目標もあるかと思えますので、先に町長のお話をお聞きしたいのですが、よろしいでしょうか。

～ 委員から了承の声あり ～

**会長** それではよろしく申し上げます。

**町長** 当町は一昨年G 8、北海道洞爺湖サミットが開催されたと、その時に合併になっていたことから、この虻田地区、洞爺地区の皆さんにサミット成功に向けてご協力をいただいていたところでございます。

特に今回のG 8北海道洞爺湖サミットの大きなテーマには、環境問題があったということから、先人達から受け継がれてきたこの洞爺湖、この周辺をきれいなまま守っていこう、そういう取り組みがなされました。

特に町内会挙げての清掃活動、あるいは各種団体の方がこの町に訪れてくれたボランティアの清掃活動、町の有志の方、多くの方に花でこの町に来てくれた方々をお迎えしようという運動が展開されました。

これを一過性のもので終わらせるのではなく、何とか洞爺湖町、いいところですよというものを今後もアピールしていきたい。

また、昨年、世界ジオパーク、地質、地溝などを何とか保護、保全だけではなくて、それを教育面でも生かすような利活用を含めた公園にしていこうということで、洞爺湖有珠山が日本国内で初めて登録を受けた、認定を受けたということでございます。

これについては、毎年審査があり、登録を取り消される場合が想定されるので地域を挙げてこの資源を守り、利活用していかなければならないと考えております。

こうした中、洞爺湖というブランドがここに来て、一躍脚光を浴びており、これを機に町の活性化にさらに繋げていけないだろうかと願っているところでございます。

また、当町については、合併以前から財政的に厳しい状況が続いておりまして、これは虻田町、洞爺村、両方とも同じ状況が言えます。

昭和50年代頃から、毎年の予算組みについては大変な思いをしながら予算を作らなければならない。

幸いにして、繰越金や基金の取り崩しによりまして、今までは赤字を出さずに財政運営をすることが出来ましたが、2000年の噴火災害によりまして復旧、復興に関して相当な借入を起したことがありまして、平成18年に夕張市が財政破綻を起したと。

それに伴い、国ではこれから先に地方自治体で同じように財政破綻の出てくる自治体が多くなると。

そうなる国にとっても大変であるということで、平成19年に地方公共団体の財政健全化に関する法律が制定されました。

これにより4つの指標があるようですが、この指標以上になった場合、早期健全化計画を国に提出しなければならないと。

この運用は平成21年度の決算から実行するということでしたが、2000年の噴火災害の復興事業に対する借入額が多額であることから、将来的には公債費比率が非常に高くなることが予測されました。

残念ですが、洞爺湖町においては、実質公債費比率が21年度に25%を超える早期健全化団体になっているということでございます。

洞爺湖町は平成24年度までの4ヵ年で国の基準以下に下げますという計画を策定し、国に提出しているところです。

選挙期間中、一刻も早い早期健全化団体からの脱却ということを訴えてきました。

そのことは是非早くに解決できればという思いで、行政運営をしてございません。

いろいろな要素がございしますが、皆様方といろいろと協議しながらある程度計画性を持って物事を進めていかなければならないと。

その一つとしては、新たな借入を21年度から4か年度起こさない。

そして今まで借りた借金については、できるものについては極力繰り上げ償還を行い、一刻も早く率を低減していきたいということでございます。

ただ、毎年の収支のバランスがございしますが、そのバランスが崩れてしまうとただ単純に実質公債費比率を25%以下に下げればいいのではなくて、単年度収支で赤字が出てしまうとこれも国に対して健全化計画を提出しなければならないということにもなりかねない部分がございますので、この辺についても十分にバランスを見ながら財政運営をしていかなければならないと。

特に24年度までの健全化計画と申し上げましたが、25年度から健全になるんですよという計画でございしますが、それを何としても前倒しできないかと。

できれば24年度からは脱却するということができないかというのが大きなものでございます。

そのためには何をこれからしていったらいいのかということを中心に計画を持っていかなければならないと思っています。

次に、町民のみなさんから一番多く耳にしたことは、この町は活気がない、働く場所がない、若い人がいない、年金受給者ばかりである。

このままでは、この先この町で生きていくのが不安だということです。

この町に何とか働く場所、雇用の場所を確保できないか、町に活気を出すことができないか、若い人が働ける場所ができないか。

これをやはり推し進めて参りたいと。



洞爺湖町は今年度、明治43年に有珠山近郊の四十三山で噴煙を上げ、温泉が発見され、文献で分かる極めて珍しい温泉地です。

今年、2010年、洞爺湖温泉が誕生して100年ということで、今いろいろな100年記念事業を実施しているところです。

特に若い人の力や発想を取り入れる観点から、6月に洞爺湖アニメフェスタを実施しました。

この成果はすばらしいものがあり、最終的な検証を近々行う予定ですが、この事業については、来年度以降も継続していきたいと考えてございます。

そのためには、今度はこういうことをやろう、もっと多くの人に理解してもらおうということを推し進めていかなければならないと、洞爺湖温泉街に久しぶりに活気が出てきたかなど、いわゆるうちの町の人達が単なるお祭りでは終わらせるのではなくて、地方からも私達の町に来て一緒に楽しんで行ってくれた経緯があったので、もっと多くの人達にお知らせをして、そして洞爺湖温泉の活性化に繋がればと思っています。

また、7月25日には洞爺湖温泉100年感謝祭を、北海道知事、北海道議会議員、近隣市町村長をお招きし、100年事業のお祝い開催しました。

併せて今までありませんでしたが、湖畔カフェというものも展開させていただきました。

これは地元の特産、農産物を何とか消費販売経路を拡大できないかということで、観光協会を中心にして湖畔カフェを7月25日以降、毎週金土日、駅前栈橋で実施してございます。

さらには、洞爺湖温泉の食本物プロジェクトというものを展開しようとしています。

洞爺湖温泉街の料理人で研究会を開いて、洞爺湖町ならではの名産物、美味しいもの、こういうものを洞爺湖に来たらこんなに美味しいものがあるよというものを何とか出せるように、研究を重ねていただいております。

これも出来ましたら、町民の皆様にご披露したいなと考えていますが、現在研究中でございます。

活気を出す面では、駅前通りに桜の木を植樹してございます。

駅前から浜に抜ける通りを何とかお客が通える、楽しめるようなものにしていきたい。

これについては地域の皆様のご協力をいただきながらたまたま事業を推進してございます。

また仙台の七夕の飾りについてですが、町に賑わいを取り戻せるようにということで、浜の方への誘導をしているところでございます。

併せて役場の方へも何基も飾っているところでございます。

それから、産業振興についてですが、リーマンショック以来、非常に厳しい状況でございます。

その中、また洞爺湖温泉に賑わいを取り戻せるようにとこれからいろいろな事業展開を予定してございます。

洞爺湖温泉街に元気がなければ、この町の発展はないのかなと思っていますので、来年度以降も一過性ではないさまざまな事業展開をしていきたいと思っています。

先日、洞爺湖温泉の行事に参加した際、観光客が意外と多く、にぎわいを見せており、盆踊りの方にもにぎわいを見せていたことから、活性化に繋がればと思っています。

漁業については、昨年ザラボヤやフジツボの被害があり、低迷が懸念されましたが、昨年中国のホタテ貝が全滅状態であることから、漁業者の皆様は一息つけると聞いてございます。

なお、貝の付着物の残渣処理については、国、道、町も何とか支援体制をとって、ホタテ養殖というすばらしいものがありますのでPRしていきたいと思っています。

農業については、現在クリーン農業が定着してまいりました。

これは土づくりから始まりまして土壌分析等の中で良質な農産物を作ることがございまして、イエスクリーン農業を提唱していますが、このたびグローバルギャップという、世界が認める農産物として、とうや湖農業協同組合が日本国内で初めて登録を受けました。

このことから、農業後継者が日増しに戻って来ている状況ですので、今後、農業後継者や若い人たちと意見を持つ場をさらに深めていきたいと考えてございます。

いずれにしても、観光産業あるいは農業、漁業の振興発展に力を入れていかなければならないと考えてございます。

次に教育文化の発展でございます

特に文科省では子ども達の学力調査を実施していますが、今年は小学校については北海道が最下位でございます。

このことから、教育問題については、もっと本腰を入れながら進めていかなければならないと考えてございます。

大きく5つのこととお話させていただきましたが、そういうことを念頭に置きながら、これから行政運営を進めていきたいと思っています。

それには、私達行政が勝手に動くわけにも行かないので、できれば地域審議会の皆様のご意見などをいただき、まちづくりに励んでいきたいと考えてございます。

**会長** ありがとうございます。

町長の今後、町民のためにがんばるんだという気持ちは分かるように感じました。

委員の皆様から町長のお話に対する意見、またお話ししたいことがございましたら発言をしていただければと思います。

また、地域資源として見学した施設についても結構ですので、ご意見等ございましたらと思いますが。

**委員** 今のお話を伺いまして、まちづくりについて一所懸命取り組んでいたことはわかりました。

この会は、虻田地区のまちづくり審議会ですが、実際、今洞爺地区を拝見させていただいて、洞爺村、虻田町が合併したのはお互いやっていけないから合併したというのが一番の原因かもしれませんが、せっかく合併したんですから、お互いよりよくなるようなそういう施策を捕まえていかなければ、私は合併した意味がないのではないかと思います。

そういうことから、それぞれの地区にすばらしい資源がたくさんありますので、それを短いスパンではなく長いスパンで、この地区はこういう役割というようにしていったら、長いスパンで捉えて最終的にこういうまちづくりにしようというマスタープランが今までは正直、この地区に欠けているかと思っておりますので、それをやはり考えていく必要があると思います。

洞爺湖温泉地区にしても、若い人たちが一所懸命にまちづくりをされていて、素人でもわかりますが、今後10年後、20年後どういう形のまちづくり、保養地にとというのがあまり伝わってこないです。

アニメフェスタにしてもいろいろな人が多く集まりますが、これから何回か続けていって人に来ていただければいいのかという考え方も出てきますし、それらも含めて今後のまちづくりについて、意見交換をする必要があるかと思っております。

最終的には長期的なまちづくりの基本的な戦略が必要ではないのかなというのが私の考えなんです。

**町長** そのとおりかと思えます。

まちづくり基本計画が基本となりますが、今まで基本計画がありました、揶揄もするとお金が付いたので、これをやろうという風潮が無きにしても非ずという否めない事実だと思います。

ですがやはり基本構想は崩さないで、みんなで考えた基本計画ですから、これをやはり継承していくことが大切です。

それと洞爺地区との距離、合併して4年が経過しますが、やはり未だに距離感があると。

今、230号線のトンネルが開通して、交通の便は良くなったがやはり目に見えない距離感があるということです。

この部分はもっと短くしていかなければならないと思います。

そのために出来ることはいろいろとやっていかなければならないと思います。

特に広報紙をうまく活用いき、地域のいいところを町民に再認識していただくことが必要かと思います。

御意見については、非常に参考になりました。

**委員** 僕が思うのには、集客ですね。

それと、産業を興すといっても、たぶん今、洞爺湖温泉で商売すると言っても商売にならないかと思います。

それくらい消費が少ないということです。

7月末から8月末までが観光シーズンで、あとは僕の見ただけでは赤字ではないのかなと思います。

ですので、シーズンにイベントを行うこともいいことかと思いますが、問題はオフシーズンではないでしょうか。

秋、冬、春の集客をいかにするかということで、自分は民間なので役場と民間の集客の境目がよくわからないんですよ。

ただ、他の地域と比較してこの洞爺湖町の民間については、えらく弱っていますよね。

何もしないというのか、何も出来ないのか、お金がないのか。

その負担が役場、農協、漁協、商工会にいかざるを得ない。

そこで資金を出して、なんらかをやっているか。

そして、外向きの広報不足でしょうか。

町内会で一所懸命いろいろな、パンフレットを置いて、仕方ないですよ。

パンフレットなどは外に置いておかないでください。

それをいかにしてやっていくか、組織も当然ないですよ、その辺を役場なり観光協会がどう考えているのか。

それから、ぼくがどうしても納得いかないのが、観光協会の場所が引っ込んでしまいましたよね。

前はメイン通りにありましたが、定山溪や登別はコンシェルジュというかつこいい名前をつけて、表通りにありますよね。

これは、経費の問題もありますが、観光協会はどのように考えていますか。

なぜでしょうか。

**委員** おっしゃるとおりですね、もともとは借地です、建物も老朽化しているということで、今回サミット記念館を造ることになったものから。

また、サミット記念館の運営委託をされているということもあって、一緒に入って、仕事の効率化、観光振興課もありますので、そういうことも図ったということもございます。

**委員** 宿泊のお客はホテルに聞けばいいですけども、通過型のお客は、例えば体験観光したいといっても、どこに聞けばいいのかわからないのではないかと思います。

**委員** やはり、その辺については、我々みんな観光業者がお客さんが受け入れるにあたってはきちんと、誰に聞いても分かるように、きちんとした対応ができるようにしていますし、立地的な部分でそうってしまったのは残念なんですけど、町民みんなで観光客を迎えるということは基本なんだと思いますね。

施設に行かないとわからないというのではなく、町の人、誰に聞いてもきちんとした対応をしてもらえるということに、町民がしていかなければならないと、いい観光地にはならなのかなと思います。

そういう努力をしています。

**会長** ありがとうございます。

**委員** ニュアンスは違いますが、美術館を目指すお客は、パンフレットを探したりしますが、計画性のない人に美術館があるということを教える方法も考えていった方がいいのかなと思います。

**会長** そうですね。

洞爺湖町のイベント情報などが入り口にあるとお客さんは喜ぶなと思いますね。

**委員** 観光紙、民間交えて作ったほうがいいかと思います。

その四季折々で食べるもの、見るところは違いますからね。

函館はありますよね。

**会長** わかりました。仕事柄もやはり観光事業にも入っていますし、委員何かご意見等ございますでしょうか。

**委員** 昨年、インフルエンザがありましたので、集客は少なかったですが、木刀関係で店の集客は増えているかと思います。

ですが、実際に、それを買う目的の方が多いので、必ずしも宿泊をするとは限りません。

お客によっては、食事のおいしいところや、キャンプ場の場所はよく聞かれます。

ですが、我々はどこがいいのかわかりますけれども、働いている従業員は伊達や違う地域の人が多いので、細かい説明はできないのが現状ですね。

ですから足湯や手湯など施設のあるところに、もうちょっといろいろな看板を建てて、見る場所が分かるような表示が必要ではないのかなと思いますね。

**会長** ありがとうございます。

委員いかがでしょうか。

**委員** 私は職業柄、観光地、温泉地に行く機会がありますが、町に入る時の看板が「ようこそ洞爺湖へ」が目立つものがないですよ。

受け入れる体制でないような気がします。

入ってきたときに花和から湖畔の方へ来た時に、洞爺湖はこういう町なのかなど、何か森林を下ってきているような感じで、洞爺湖温泉はこういう町なのかなど、他の観光地に比較して寂しい感じがします。

また、現在、新規就農者が増えてきているかと思います。

その研修に来ている方はすごく苦労しているようですね。

今後この受け入れ体制をもっと拡充して、雇用確保の場所を拡大することが必要かと思います。

就業者の方にも目を向けながら、観光にも目を向けながら、観光振興に力を注ぐことが必要かと思います。

**会長** 洞爺ガイドセンターでも、少しずつそのような取り組みを行っているように聞いています。

一応、今日は4時15分まで会議終了となっていますけれども、今後このテーマなりこういうことについて、時間があれば、皆さんもし依頼等があれば、役場の方にお願ひしまして、会を開くのもいいのかなと思います。

私もそう思いますので、時間が限られた中でご意見を賜りましてありがとうございました。

本日の会を閉じたいと思いますけれどもよろしいでしょうか。

**町長** 本日は皆さんから貴重なご意見伺ひまして、私も日頃から思っているようなことがたくさんありました。

今すぐ出来るようなこともあるし、揶揄もすると時間がかかるかもしれない。

だけれども、皆様のご協力をいただいてやらないといけないことが多々あります。

できるものからすぐに取り掛かるようにしたいですけれども、本当に今日は参考になるようなご意見がありましたので、貴重なご意見ありがとうございました。

**会長** 今日は第1回目の審議会でございますけれども、これを持ちまして閉めたいと思います。

本日はありがとうございました。

**(終了時刻 16:30)**